

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	349420029号		
法人名	有限会社トツツ		
事業所名	グループホームふあみりい世羅西		
所在地	広島県世羅郡世羅町小国4277番地1		
自己評価作成日	令和2年2月8日	評価結果市町村受理日	令和3年5月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	広島県福山市平成台31-34
訪問調査日	令和3年2月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節を感じて頂く行事や活動に取り組んでいます。さつま芋を植え収穫、おはぎ作り、畑仕事など。また、利用者様と職員が家族として日々笑顔で生活が送れるよう支援をしています。

事業所は、田畑や山林に囲まれた静かな場所にあり、四季折々の風景を眺める事ができる。企業理念から施設目標を設定し、「笑顔を大切にし地域の方とのふれあいをし、プロ意識を持って支援する」ことを、職員で共有し実践に繋げている。職員は笑顔で接するように心がけ、利用者の立場で考え、一人ひとりの思いや尊厳を大切にしている。役割をもって生活できるよう、利用者と一緒にゴミ捨てに行くなどの声かけをしたり、毎朝の歩行で筋力低下を防ぎトイレでの排泄を維持している。今年度は、コロナ禍にあり、運営推進会議は書面での開催とし利用状況などの情報提供を行うとともに、家族や町福祉課などにも配布し、要望や意見を聴きサービス向上に努めている。(コロナ感染防止のため書面・電話聞き取りにて評価施行)

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

特定非営利活動法人 あしすと

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、朝礼時唱和を行う事により、理念の共有が実践できるよう努めている。	企業理念・方針を職員全体で共有している。施設目標として「笑顔を大切にし地域の方とのふれあいを行い、プロ意識を持って支援する」ことを設定し、実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りなどにも可能な限り参加しボランティアを呼んで交流していたが現在新型コロナウイルス感染防止のため中止している。	地域の祭りに参加したり、地域ボランティアとの交流をしていたが、コロナ禍にあり、現在は交流が困難である。管理者が認知症アドバイザーとして、行政の相談業務を担当しているため地域住民と交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩、月行事を利用し地域へ出向き理解を得るよう努めています。認知症とはについて知って頂く方法として、展示が出来る地域行事へ参加していたが現在新型コロナウイルス感染防止のため中止している。電話での相談は受けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	現在新型コロナウイルス感染防止のため中止している。利用状況、活動状況等を書面で郵送し報告(行事での様子を、写真撮影。その後プリントアウトし、配布している)、アンケートを行いサービスの向上に図っている	コロナ禍にあり、運営推進会議は書面での開催とし、利用状況などの情報提供を行うとともに、家族や町福祉課などにも配布し、アンケートから要望や意見を聴き、サービス向上に努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を利用し、運営について相談等を行っている。	管理者が中心となり、入居の相談を受けたり、介護保険の更新申請など必要に応じて連携を図っている。市主催のコロナウイルスに関する研修や会議に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修の実施、身体拘束廃止委員会を設置し拘束をしないケアに努めている。(他施設との合同委員会設置) 日中は施錠を行ってないが夜間は防犯の為施錠を行っている。	毎月、身体拘束廃止委員会を世羅の事業所合同で開催し、検討している。不適切ケア・虐待の芽チェックリストを活用し、日々のケアを振り返り職員の意識づけをしている。帰宅願望のある利用者には、利用者の思いを傾聴すると共に、一緒に散歩するなど対応の工夫をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修を行い虐待についての理解や予防に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後も、勉強会を実施予定。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所にあたり、利用者、家族と十分な話し合いを持ち理解をされた上で契約をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運現在新型コロナウイルス感染防止のため中止で運営推進会議行っていないがアンケートを郵送して意見の聞き取り、利用者、家族からの意見を記録し、職員会議やカンファレンス等で話し合いを行いケアに反映。(意見箱設置)	利用者の希望は日常会話の中から聴き、できる限り反映させている。家族へは、利用者の日頃の様子を電話などで報告しており、その際に家族の要望を聴いている。例として、オンライン面会のためのカメラを購入した。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議の中で職員の意見を聞く場を設け、業務に反映できるよう努めている。(要望があれば随時会議が開けるよう努めている。)	職員会議や日々の勤務の中で意見や要望を聴いている。行事や研修会は担当職員が中心となり進めている。洗剤や道具などの物品購入や利用者の部屋の配置変更などの提案を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務態度や状況を管理者が把握し評価している。個人面談での意見の聞き取り、状況によっては拠点会議で話し合いを行っている。休み希望や勤務時間も柔軟に対応している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修や法人研修など開催しスキルの向上に努めている。また、現在新型コロナウイルス感染防止のため外部研修への参加は難しい状況ではあるがリモートやyou tubeの研修に参加した。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者などは世羅町のネットワーク会議に参加して交流しているが現在新型コロナウイルス感染防止のため外部研修への参加は出来ていないので職員の交流が難しい状況。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に自宅(施設)への事前面談を行い、十分に話を聞き安心して生活できるように努めている。また、入所後も日々の会話の中から聞き取りを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用相談時、事前面談時に家族の意見を十分に聞き取り関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望や状態を把握し、必要とされているサービスの見極め、提案を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者とのコミュニケーションを密にし、本人の意見を尊重しながらケアにあたっている。(個々に担当職員の配置を行っている。)		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	、家族会等にて意見の聞き取り現在新型コロナウイルス感染防止のため面会中止のため受診報告など電話で日々の状況を報告し協力をお願いするなど共に支援できるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在新型コロナウイルス感染防止のため面会を全面中止にしている。リモートでの面会も検討中。(家族側の環境が整えば行える状況)	入所前の面談や本人の会話から馴染みの関係性を把握するよう努めている。本人の要望があれば、友人や家族と会話できるよう電話をかけるなどの支援している。(携帯電話が利用できる人もいる)	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入りスムーズに関係作りができるよう配慮している。(話易い雰囲気作りを心がけている。)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了時や入院者には、家族・病院等と連絡を取り状態の把握に努め、相談・支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から希望や意向を聞き、思いの把握に努めている。困難な場合は、ご家族への聞き取りや日々の様子の中から検討を行っている。	日々の生活の中での会話や入浴などの場面から思いや「したいこと」など意向を把握している。把握した情報は、申し送りノートなどを利用して職員全体で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族等の協力を得ながら生活歴など情報収集を行い、入所後、新たに得た情報も記録し職員で共有するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細やかな気づきも介護記録に記入し、状態の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や日々の申し送りなどでミーティングを行い話し合いを行っている。また、状態の変化等あればモニタリング後ケアカンファレンス実施し介護計画の作成を行っている。	入居前の面談やケアマネの情報・アセスメントから介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリング・カンファレンスを行っている。必要時医師の意見など反映し、状態の変化があればその都度見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	できる限り記録に残すように心がけている。スタッフ間の情報の共有のため介護記録、連絡ノートを活用し介護計画の見直しなどに生かしている。また、業務日誌の利用をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状態に合わせ、他の施設や医療機関を含め紹介や相談を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員や地域の方、ご家族には運営推進会議の中で相談やお願いしている。今後は事業所としてもっと地域へ出ていき話をする場を作っていきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入所前のかかりつけ医へ家族対応にて受信。家族対応が難しい方は、受診介助を行っている。かかりつけ医の希望のない方は、事業所の協力医を紹介し受診している。	かかりつけ医の希望を大切にしており、契約時に納得が得られるよう、情報を共有している。緊急・夜間時は、協力医との連携を図り、適切な医療が受けられるよう支援している。歯科や専門の科を受診する場合、職員が受診の支援をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護職員の配置。連絡、相談を行っている。訪問看護の利用もなし。職員は日々の状態把握に努め、受診時には主治医、看護師へ相談、情報の伝達を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関への状態伺いの連絡を定期的に行い、状態把握に努めている。また、病院へ出向き直接情報交換も行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時、医療的管理や処置などは行えない事を伝え理解を得ている。状態に合わせ随時、他施設や医療機関の紹介、調整を行っている。	入所時に、事業所で出来ること・出来ないことの説明している。重度化した場合は、医師から家族へ説明し、病院や他施設の情報や方針の共有を行い、家族の意向に沿った支援となるように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内外研修への参加、全職員への伝達を行い事故発生時に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練(消防署の指導のもと総合訓練)実施している。地域防災については運営推進会議の場で相談、今後取り組んでいきたい。(消防署に講習会の依頼をし、職員一人一人が火災時に慌てないよう心掛ける)	年2回、総合消防訓練を行っている。(1回は夜間想定)土砂災害に対して避難計画書を作成している。災害を想定し、ご飯や水・カップ麺等の非常食を3日分備蓄している。	コロナ禍にあるが、地域住民との協力体制を築くと共に、消防署と連携し、避難のシミュレーションと情報共有ができるよう期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	事業所内研修の実施。職員によって意識の違いもあるため、今後も勉強会等行い意識向上につなげていきたい。	接遇・プライバシー保護について内部研修を行っている。利用者の人格を尊重し、一人ひとりが役割をもち過ごせるよう支援している。排泄や入浴時にはタオルをかける等配慮し、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り利用者を選択してもらえるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせ、支援するよう心掛けている。業務に追われ職員のペースになることがある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容の活用。着替え時、衣類を本人に選択してもらう。また、入所前に行っていた馴染みの店にて散髪が出来るよう支援体制ができています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや味見など出来ることを一緒に行っている。また、行事にておやつ作りを行う上で作業(調理)の希望を聞きながら行っている。	盛り付け・食器洗い等、利用者それぞれが役割を持ち、できる事を職員と一緒にやっている。各月の行事で巻きずしやぜんざいを作ったり、畑で育てた野菜と一緒に収穫し、食材に利用したりと食事を楽しむことができる支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量は全て記録し把握するよう努めている。摂取量が少ない時は、本人の好みのものなど提供し摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けを行っている。自力では不十分な方は介助にて行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録をとり、排泄パターンの把握に努めている。職員間でも声を掛け合い確認するよう心がけている。	声かけにより、昼間はほとんどの利用者がトイレで排泄し、夜間はそれぞれ利用者の状態に応じて対応をしている。身体機能維持のために、毎朝歩行したり、夕方職員とゴミ捨てに行く利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	こまめな水分補給や適度な運動を心掛けている。かかりつけ医に相談しながら、下剤の調整等行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の希望に合わせて入浴している。拒否のある方などは、時間や職員を変えるなどし清潔保持に努めている。	本人の希望にあわせて入浴している。拒否のある利用者には、タイミングや対応を工夫している。おしゃべりを楽しんだり、足に浮腫がある人には足浴するなど個々に沿ってゆったりと支援している。入浴後には保湿剤や乳液を塗布し、皮膚の保湿に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的な生活時間は決めてあるが、本人の状態や希望により柔軟に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内容や服薬状況の把握に努め、個々に対応方法を検討している。服薬確認を行い記録に残している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中に役割を持って生活できるよう、家事など一緒に行っている。また、季節の行事やドライブなど利用者の希望を聞きながら検討している。現在新型コロナウイルス感染防止のため敷地内での活動のみ。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	現在新型コロナウイルス感染防止のため中止している。ドライブは行っているが自動車から出ないように楽しんでもらうよう工夫しているが参加する利用者に偏りがある。全員で行ける行事を計画し、安全第一に心掛け支援している。	コロナ禍のため、全員での外出はできないが、敷地内の散歩やドライブを行っている。歩行困難な利用者は、歩行器や車椅子を使用して外出支援をしている。紅葉狩りかわりに庭でおやつを食べる会を開催し、気分転換の機会をもつよう工夫した。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の施設ということもあり、殆どの方は現金所持はしていません。買い物等、欲しいものは立替にて購入してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人より訴えがあれば対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなるべく自宅で使っていた馴染みのものを持ち込んで頂くよう入所時にお話しくをしています。共有スペースは、派手な装飾は控え、季節の飾り(利用者と一緒に作ったもの)を季節に合わせて変えるよう心がけておます。環境整備に取り組んでいる。	リビングの長椅子に座っておしゃべりを楽しんだり、ひなたぼっこができる場所を作るなど利用者が居心地よく過ごせる支援をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	机の配置や、ソファの場所など独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り馴染みのものを居室へ置いていただき、安心して生活できるよう配慮しています。利用者・家族の希望を聞きながら本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には使い慣れたものや好みの家具、テレビなどが持ち込まれ、利用者がわかりやすいように日程表を掲示している。行事の写真やぬいぐるみ、手作り作品などが飾られ利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全面バリアフリーになっており、トイレや浴室にも手摺設置しています。今後も、リスクマネジメント等行い、安全で住みやすい環境作りを工夫している。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍にあるが、地域住民との協力体制を築くとともに消防署と連携し、避難のシュミレーションと情報共有をする必要がある。	地域住民や消防署との協力体制や連携を強化し災害時に対応できるようにする。	コロナ禍ではあるが、できるだけ運営推進会議を利用し話し合いの場を持って災害時に協力・連携して避難できるようにする。情報共有も行き、災害時にスムーズに避難できるようにする。	令和3年4月1日～令和4年3月31日
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(3))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

特定非営利活動法人 あしすと

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印 )
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )